

蝶の昼

新野^{にの}祐子

『一日一文』ロレンスの詩と青き踏む

永久凍土解けモンスター陸続と

魔除けとう満作咲かずパンデミック

春愁い完膚なきまで払われて

春光や亡き子を描く絵に楽譜
師・日画伯

コロナ禍や残雪の白きわ立てり
葉山山行三句

目印を辿れば奈落蝶の昼

いま芽吹く樵はますらお触れてみる

届きたるコゴミ・アズキナ・オプチミズム

あめつちにひろがるしじま鳥帰る